

指定管理業務点検・評価シート(平成28年度業務)

平成29年7月26日

施設名	とっとりバイオフロンティア	所在地	米子市西町133番地2
施設所管課名	商工労働部産業振興課	連絡先	0857-26-7244
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	平成26年度～平成30年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積:1,260.84㎡ ○施設内容:研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4他
利用料金	(別表のとおり)
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、セキュリティーカードを使用することで、開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、セキュリティーカードを使用することで、休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の維持管理に関する業務(施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等) ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務(利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務) ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務(相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等) ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員:2名、任期付職員:5名、非常勤職員:1名〔計8名〕
	<p>【体制図等】</p> <p>施設長(正職員、機構バイオフロンティア推進室室長兼務)</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 副施設長(正職員、機構バイオフロンティア推進室副室長及び管理グループ長兼務) <ul style="list-style-type: none"> └ 管理担当スタッフ(任期付職員) └ 会計スタッフ(非常勤職員、機構本部駐在) └ バイオマネージャー(任期付職員) <ul style="list-style-type: none"> └ 事業推進グループ長(任期付職員、サブマネージャー兼務) <ul style="list-style-type: none"> └ 人材育成コーディネーター(任期付職員) └ 機器管理担当スタッフ(任期付職員)

4 施設の利用状況

利用者数(人:貸 実験室等入居者 含む)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	28年度	2,434	2,528	2,979	2,970	3,053	2,898	2,888	2,758	2,815	2,779	2,756	2,815	33,673
	27年度	2,608	2,626	2,614	2,880	2,733	2,844	2,937	2,864	2,797	2,746	2,796	2,749	33,194
増減	△174	△98	365	90	320	54	△49	△106	18	33	△40	66	479	

利用料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	28年度	1,240	1,300	1,364	1,498	1,756	1,865	1,907	1,984	2,106	2,183	2,104	1,991	21,298
	27年度	1,373	1,396	1,472	1,371	1,429	1,360	1,367	1,440	1,332	1,241	1,364	1,340	16,485
増減	△133	△96	△108	127	327	505	540	544	774	942	740	651	4,813	

5 収支の状況

区 分		28年度	27年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	8,414	8,250	164
		動物実験棟使用料収入	9,151	4,831	4,320
		機器使用料	3,562	3,402	160
		その他	171	2	169
		小計	21,298	16,485	4,813
	事業外収入	光熱水費負担金収入	3,767	2,593	1,174
		自動販売機手数料	128	153	△25
		受取利息	0	1	△1
		県委託料	89,567	98,901	△9,334
		小計	93,462	101,648	△8,186
計	114,760	118,133	△3,373		
支出	人件費	30,357	30,794	△437	
	管理運営費	84,403	87,339	△2,936	
	計	114,760	118,133	△3,373	
収支差額	0	0			

6 労働条件等

確認項目	状況			備考	
	正職員	任期付職員	非常勤職員 (本部常駐スタッフ)		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者 を雇う場合は作成、届 出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	※労働基準監督署長への届 出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	※幅がある場合は上限、下 限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、自 己申告、使用者の現認など の別を記入
	休暇、休日の状況	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	休暇:年20日 休日:毎週土・日曜日、国 民の祝日	※幅がある場合は上限、下 限を記入
給与	給与金額	258千円/月	295千円/月	135千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者(衛生推進者)の選任	選任の要否:否	選任状況:選任なし		※業種・規模の要件あり

(参考)

○労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例(労働基準法に基づくもの)

- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合(労働基準法第18条)
- ・1ヶ月単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要)
- ・1年単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の4、第32条の4の2ほか)
- ・1週間単位の変形労働時間制(労働基準法第32条の5)
- ・時間外労働・休日労働(労働基準法第36条 いわゆる「36協定」)
- ・事業場外労働のみなし労働時間制(労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要)
- ・専門業務型裁量労働制(労働基準法第38条の3)

○各種管理者等の業種・規模に係る要件(労働安全衛生法に基づくもの)

種別	業種	規模(常時使用する労働者数)
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業(物の加工業を含む。)、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人(1人選任)
		201人～500人(2人選任)
		501人～1,000人(3人選任)
		1,001人～2,000人(4人選任)
		2,001人～3,000人(5人選任)
		3,001人以上(6人選任)
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。(開催回数22回、参加者数延べ593名) ・利用者から要望のあった実験分析機器のメーカー担当者による使用に係る説明会・研修会を行い、実際の使用時にも財団担当職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。(開催回数7回、参加者数延べ63名) ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した(技術習得センターと併せて人材育成セミナーを29回開催、参加者延べ656名。)
設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・実験機器については、日々作動確認を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる対応を行った。 ・実験の実施に当たっては利用者が各種法令に基づく適正な実験や動物管理が行えるようマニュアルを作成し、誰でも分かるよう掲示した。また動物実験実施者が施設および実験機器をより利用しやすくなるように管理マニュアルを改訂し、鳥大5階動物飼育施設(指定管理施設)と鳥大3階動物飼育施設(鳥大施設)との行き来を可能にした。 ・施設入居者より要望のあった設備等を導入した。(詳細は"8利用者意見への対応"に記載) ・機器の配置変更を行い、スペースをより有効に活用できるようにした。
事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ関連学会・セミナー等に積極的に参加し、バイオ関連情報の収集に努め、施設利用者に最新のバイオ業界の動向やバイオ関連企業のニーズなどの情報提供を行った。 ・バイオマネージャー及びR&Dコーディネーターを中心として、県内企業及び県外製薬企業などを訪問し、施設への入居及び開放機器の利用案内を行い施設利用促進に向けての活動を行った。 ・バイオ系大型展示会に出展し、出展社セミナーの他、ブース内プレゼンも企画し共同出展の製品・技術PRを支援した。 ①Biotech2016(平成28年5月11-13日) ②BioJapan2016(平成28年10月12-14) ③メディカルジャパン2017(平成29年2月15-17日) ・海外企業訪問への動向に際し、人工染色体技術に関するPR、マッチングの可能性について提案した。米国サンフランシスコの企業訪問にはInfiniteBioInc.に専門家派遣として委託して同行してもらった。 ①Shanghai Genon Biotech(中国・上海)(平成28年6月6-8日):鳥取大学染色体工学研究センターに同行 ②Cirstal Bioscience(米国・サンフランシスコ)(平成28年8月13日):関Trans Chromosomicsの訪問にInfinite Bio.Inc.に専門家として同行委託。 ・鳥取大学の有する世界最先端の染色体工学技術を活用した共同研究やその成果の実用化を推進するため、当法人が総合調整機関として実施している地域イノベーション戦略支援プログラム事業(文部科学省補助事業)により研究成果の事業化の推進を図った。 ・バイオマネージャーによる利用企業等が持つ資源と大手製薬会社とのマッチングなどのコーディネート、ベンチャー企業のグラント獲得を積極的に行った。 ・鳥取大学が文部科学省の地域科学時術実証拠点整備事業及び地域イノベーション・エコシステム形成プログラム申請に当たり、計画策定を支援した。 ・利用者からの要望のあった実験分析機器メーカー担当者による使用のサポートを行うことにより、利用者のスキルの向上に繋げた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを利用し、施設の目的・概要、から利用料金まで幅広い情報を提供した。また、昨年度に続き『facebook』と『YouTube』を活用した情報発信を行った。 ・企業へのPRを意識したパンフレット、DVDの制作、イベント時に資料を入れる紙袋やクリップ等のノベルティグッズを企画、作成し、イベント時に配布し、PRに努めた。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者の要望、意見については4月に行った利用者への説明会兼意見交換会にて把握し、また、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
施設内の避難経路などの確認をする機会を設けて欲しい。	各部屋の出入口付近に避難経路図を設置。避難訓練実施の検討をすることとした。
停電時の非常用電源につながっているフリーザーはどれか教えて欲しい。	機器ごとに表示することとした。
染色体解析専用顕微鏡の利用時に、同時に超遠心分離機が作動していると、取り込む画像がぶれてしまうことがある。 共焦点顕微鏡のように耐震用の机にすることはできないか。	除震台の設置等を検討したが、確実な改善効果が見込めず、価格も高額なことから現状で現状維持とした。
相談室設置のTV画面にPC画面を表示させる方法の問合せがあった。	簡易取扱説明書を作成し、設置した。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・BioJapan等大型展示会・商談会への出展支援等及び企業PRを進めてもらうことで事業の展開の幅が広がった。 ・企業訪問の同行を依頼することで、企業間のマッチングへの移行がスムーズに行えるようになった。 ・展示会出展及びセミナー等がきっかけとなり共同開発へと発展した。 ・機器使用の説明会等を企画し参加することで研究の効率と進捗の向上が図られる。 ・機器が揃っていて非常に実験しやすい環境である。 ・機器利用料金が非常に安価で研究環境が整っていて便利である。

9 指定管理者による自己点検

【成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項】
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者から要望のあった実験分析機器に係る説明会・研修会を実施。加えて、職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。 ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。 ・地元企業の展示会出展を積極的に推し進めた。 ・セミナー・学会等に積極的に参加し、バイオフィロンティアのPRを行うとともに、研究成果の事業化に向け、海外企業訪問に同行し、人工染色体技術に関するPR、マッチングの可能性について提案した。 ・鳥取大学の有する世界最先端の染色体工学技術を活用した共同研究やその成果の実用化を推進するため、地域イノベーション戦略支援プログラム事業により研究成果の事業化の推進を図った。 ・バイオマネージャーにより利用企業等が持つ資源と大手製薬会社とのマッチングなどのコーディネート、ベンチャー企業のグランド獲得支援を行った。

【現在、苦慮している事項】[今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項]
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用拡大と事業化の推進。 ・居室等が満室で今後の研究等の進展でベンチャーや共同研究参画社の入居希望に応えられない状況にある。入居者からのスペース拡大や県内外からの入居希望もある一方、入居企業の事業が自立して退出するまでには育っていない。 ・地域産業振興へのつながりについて、出口戦略が製薬企業であり地域企業とのつながりが希薄。地域企業との接点の拡大に努めている。

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・機器及び実験室等の利用件数が増加したことに伴い、利用料収入が前年度と比較し約2倍の増収となった。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・利用者からの要望のあった実験分析機器メーカー担当者による使用のサポートを行うことにより、利用者のスキルの向上に繋げた。 ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を講読し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した(技術習得センターと併せて人材育成セミナーを29回開催、参加者延656名。) ・バイオマネージャーによる利用企業等が持つ資源と大手製薬会社とのマッチングなどのコーディネート、ベンチャー企業の獲得を積極的に行った。
[利用者総合支援業務の実施状況] ○利用者の研究開発及び事業化推進(事業計画、進捗状況把握等) ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・バイオ系大型展示・商談会への出展支援、企業訪問への同行等により、利用者と製薬企業との共同開発のきっかけを作った。 ・海外展示会への参加による、技術PR、施設紹介、市場調査等をバイオ関連コンサルタント会社に委託実施。
[バイオ人材育成事業の実施状況] ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・セミナーの参加人数が増加した。
[収入支出の状況]	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・複数年契約、自己メンテナンス等の実施により実験機器のメンテナンス委託経費を削減。 ・管理委託料収入以外に動物実験棟使用料収入等の増収があった。
[会計事務の状況]	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[職員の配置] ○業務全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物実験に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[関係法令の遵守]	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
総 括	3	○おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》5:協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

- 4: 協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3: おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2: 協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1: 協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている。計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。

(別表1)
実験室等

名 称		面 積	備 考
1階	オープンラボ	214 m ²	
3階	実験室 (4室)	311、312	37.47 m ²
		313、314	38.67 m ²
	動物飼育室(4室)		10.53 m ²
	居室 (4室)	301、302	20 m ²
303、304		20.6 m ²	

研修室

名 称		面 積	備 考
1階	研修室	42 m ²	

開放機器

2階細胞実験室	2階遺伝子実験室	2階機器分析室	2階試薬管理室	大学5階動物飼育室(実験室)
クリーンベンチ	安全キャビネット	サイドオープンL型ドラフトチャンバー	小型動物麻酔器	In vivo 発光イメージングシステム
倒立型ルーチン顕微鏡	オートクレーブ	サイドオープンR型ドラフトチャンバー	薬用冷蔵ショーケース	マイクロインジェクションシステム
3眼鏡筒倒立型ルーチン顕微鏡(デジカメ付)	小型冷却遠心機	動物組織固定装置	薬用保冷库	マイクロインジェクションシステム針調整機
スイング型冷却遠心機	ゲル撮影装置	密閉式自動固定包埋装置	超低温フリーザー	実体顕微鏡
安全キャビネット	微量サンプル計測設備	パラフィン包埋ブロック作製装置		蛍光実体顕微鏡
オートクレーブ	分光光度計	マイクロトーム		安全キャビネット
倒立型蛍光顕微鏡	PCRマシンI	パラフィン溶融器		オートクレーブ
オールインワン顕微鏡	PCRマシンII	パラフィン伸展器		小型CO2インキュベーター
大型遠心分離機	乾熱滅菌乾燥機	感染防止対策用クリオスタット		
遺伝子導入装置	実験用器具自動洗浄機	血液生化学分析機		
生物顕微鏡	超遠心分離機	全自動万能回転型マイクロトーム		
実体顕微鏡	化学発光・蛍光検出機	プログラムフリーザー		
インキュベーター顕微鏡	多検体サンプル粉碎機	超低温フリーザーB		
セルアナライザ	超音波サンプル粉砕機	薬用冷蔵ショーケース		

	碎機	ース		
発光ライブセル イメージングシ ステム	リアルタイムP C R	薬用保冷库		
培養細胞リアル タイム発光計測 装置	遺伝子抽出装置	薬品保冷库		
プレートリーダ ー	共焦点顕微鏡	薬品器具棚		
高感度冷却CC Dカメラ	染色体解析専用顕 微鏡	薬品冷蔵庫		
CO ₂ インキュ ベーターA	マイクロダイセク ション			
CO ₂ インキュ ベーターB	バイオサンプル粉 砕装置			
超低温フリーザ A	冷却大型振とう培 養機			
薬用冷蔵ショー ケース	冷却小型振とう培 養機			
薬用保冷库	大腸菌培養用イン キュベーター			
細胞保存用液体 窒素タンク	薬用冷蔵ショーケ ース			

大学5階動物飼育室

区分	ラックシステム	
501 号室	両面式マウス用マイクロアイソレーターラックシステム (144ゲージ)	2台
	片面式マウス用マイクロアイソレーターラックシステム (70ゲージ)	3台
	片面式マウス用マイクロアイソレーターラックシステム (72ゲージ)	3台
	片面式ラット用マイクロアイソレーターラックシステム (40ゲージ)	1台
502 号室	両面式マウス用マイクロアイソレーターラックシステム (144ゲージ)	2台
	片面式マウス用マイクロアイソレーターラックシステム (70ゲージ)	4台
	片面式ラット用マイクロアイソレーターラックシステム (40ゲージ)	2台

(別表2)

実験室等

名 称		面 積	利用料金	備 考	
1階	オープンラボ	214 m ²	306,020 円/月	電気代・水道代は 使用実績に応じ別 途徴収	
3階	実験室 (4室)	311、312	37.47 m ²		53,580 円/月
		313、314	38.67 m ²		55,290 円/月
	動物飼育室 (4室)		10.53 m ²		15,050 円/月
	居室 (4室)	301、302	20 m ²		28,600 円/月
303、304		20.6 m ²	29,450 円/月		

備考

利用期間が1月未満であるとき、又は利用期間に1月未満の端数があるときは、日割りをもって計算するものとする。

(別表3)

	名 称	面 積	利用料金	備 考
1階	研修室	42 m ²	252 円/時間	プロジェクター 470 円/1 時間 スクリーン 100 円 /1 時間 暖房又は冷房を使用したときは、78 円/時間を加算

(別表4)

開放機器

(ア) 時間又は日単位で貸し出すもの

階数	区分	単位	利用料(円)	備考
大学 5階	細胞実験室、遺伝子実験室、機器分析室 動物飼育室(実験室)	1 機器当たり 1 時間につき	100	・一般機器、専門機器が対象
		全機器を対象に 1 日につき	3,080	・一般機器、専門機器が対象 ・1日は、午前9時から翌午前9時までとする。
		全機器を対象に 4 時間につき	1,540	・一般機器、専門機器が対象
		一般機器全てを対象に 1 日につき	1,020	・一般機器が対象 ・1日は、午前9時から翌午前9時までとする。
		一般機器全てを対象に 4 時間につき	510	・一般機器が対象

(イ) 日単位で貸し出すもの

階数	区分	単位	利用料(円)	備考
2階	細胞実験室、遺伝子実験室、機器分析室	1 機器当たり 1 日につき	100	・保管系機器が対象 ただし、CO ₂ インキュベーター、冷却大型振とう培養機、冷却小型振とう培養機以外は、1 機器の区画を区切った利用を想定 ・1日は、午前9時から翌午前9時までとする

◇一般機器

2階 細胞実験室	2階 遺伝子実験室	2階 機器分析室	2階 試薬管理室	大学5階動物飼 育室(実験室)
クリーンベンチ	安全キャビネット	サイドオープン L型ドラフトチ ャンバー		実体顕微鏡
倒立型ルーチン 顕微鏡	オートクレーブ	サイドオープン R型ドラフトチ ャンバー		蛍光実体顕微鏡
3眼鏡筒倒立型 ルーチン顕微鏡 (デジカメ付)	小型冷却遠心機			安全キャビネット
スイング型冷却 遠心機	ゲル撮影装置			オートクレーブ
安全キャビネット	微量サンプル計 測設備			小型CO2インキ ュベーター
オートクレーブ	分光光度計			
倒立型蛍光顕微 鏡	PCRマシンI			
オールインワン 顕微鏡	PCRマシンII			
大型遠心分離機	実験用器具自動 洗浄機			
遺伝子導入装置				
生物顕微鏡				
実体顕微鏡				

◇専門機器

2階 細胞実験室	2階 遺伝子実験室	2階 機器分析室	2階 試薬管理室	大学5階動物飼 育室(実験室)
インキュベータ 顕微鏡	超遠心分離機	動物組織固定装 置	小型動物麻醉器	In vivo 発光イメ ージングシステ ム
セルアナライザ	化学発光・蛍光検 出機	密閉式自動固定 包埋装置		マイクロインジ ェクションシス テム
発光ライブセル イメージングシ ステム	多検体サンプル 粉碎機	パラフィン包埋 ブロック作製装 置		マイクロインジ ェクション針調 整機
培養細胞リアル タイム発光計測 装置	超音波サンプル 粉碎機	マイクロトーム		
プレートリーダー	リアルタイムP CR	パラフィン伸展 器		

高感度冷却CCDカメラ	遺伝子抽出装置	感染防止対策用クリオスタット		
	共焦点顕微鏡	血液生化学分析機		
	染色体解析専用顕微鏡	全自動万能回転型マイクロトーム		
	マイクロダイセクション	プログラムフリーザー		
	バイオサンプル粉砕装置			

◇保管系機器

2階 細胞実験室	2階 遺伝子実験室	2階 機器分析室	2階 試薬管理室
CO2 インキュベーターA	冷却大型振とう培養機	超低温フリーザB	薬用冷蔵ショーケース
CO2 インキュベーターB	冷却小型振とう培養機	薬用冷蔵ショーケース	薬用保冷庫
超低温フリーザA	大腸菌培養用インキュベーター	薬用保冷庫	超低温フリーザー
薬用冷蔵ショーケース	薬用冷蔵ショーケース	薬品保冷庫	
薬用保冷庫	乾熱滅菌乾燥機	薬品冷蔵庫	
細胞保存用液体窒素タンク		パラフィン溶融器	

(別表5)

ゲージ管理料

場所	利用料	備考
3階動物飼育室及び大学5階動物飼育室	1ケージ1日あたり40円	